



R.I. District2610. ROTARY CLUB OF UOZU
魚津ロータリークラブ 会報誌
2007-2008 年度 RI 会長 ウィルフッドJ. ウィルキンソン
魚津R.C会長 谷川 文紹

2007 年 8 月 30 日

第2597回 例会報告

ゲスト並びにビジター紹介

なし

誕生祝

8 月 31 日 岡崎 外雄 君



今日で 81 歳になりました。8 月 31 日と言うと小学生の頃には夏休みの宿題で必死に机に向かっていた日であり、又社会人になってからはお盆の月であり、月末の支払や資金繰りで忙しい思いで過ごしたといった思い出があります。そのような状況でしたので誕生祝をした事はあまりありませんでした。しかし、R・Cには入ってからは皆さんに祝っていただくことが 28 回目です。これからも健康に留意して祝っていただけるよう頑張ります。

会長挨拶

猛暑・酷暑といわれる時も過ぎ、多少朝夕の気温の寒暖の差があり時期となりました。このような時こそ身体的には過酷でありますのでご自愛下さい。国際青少年交換の際には関係者にご協力いただき感謝いたします。尚その際の記録を DVD にしましたので、ご希望の方は申し出てください。今後も各種奉仕活動を行っていただくよう各委員会は活発に開催願います。本日の健康講座は、東洋医学のツボの話です。咄嗟に身体各部位に痛みがあった時、薬剤に依存することも勿論必要ですが、ツボとして合谷（ごうこく・・・手の親指と人差し指のまたのくぼみの部分）を経絡の流れから痛い部位の方を強く押さえると多少その痛さは緩和されます。それでも痛さが引かないときは手三里（てさんり・・・肘を曲げたときに出来るしわから手首よりに 3 指幅（2 寸）の部分）を押さえる。以上 2 つのツボを覚えておいてください。

幹事報告

- ★ 黒部 R・C 9 月度例会案内
- ★ 黒部中央 R・C 週報・活動計画書
- ★ 米山梅吉記念館 館報
- ★ 魚津市交通センター 秋の交通安全運動出発式の参加依頼

出席報告

出席者 30 名 出席率 88.23% 2595 回出席率 82.23%→88.23%

ニコニコボックス

- 関口 智恵子 君 海外学生受入れの際のご協力に感謝して。
- 大村 雅紹 君 自社は ISO9001・14001 取得した。今後も顧客満足度と環境保全に努力する。
- 谷川 文紹 君 ベルギー交換学生受入れに協力に感謝して。

委員会報告

国際青少年交換委員会 会員のベルギー交換学生受入れに協力に感謝します。

卓 話**ロータリー情報委員会及び新世代メンバーシップ委員会 月間卓話**

委員長 大城 道雄 君 及び副委員長 武隈 博信 君



(配布資料あり)

当委員会のもつ重要性について新入会員は勿論であるが全会員が改めて認識を持ってください。説明については種々の発行資料や情報や要覧・手引きなどを調査して整理した事項である。

ロータリー情報委員会とは、(クラブ委員長手引き及び手続要覧より)

- ①新会員がクラブ入会から1年間のオリエンテーションの監督の任に当たる。
- ②会員の特典と責務に関する情報を会員候補者・新会員・年籍者に提供する。
- ③会員にロータリーの歴史・綱領・活動・範囲に関する情報を提供する。
- ④会員に国際ロータリーの運営管理の進展を伝達する。

⑤例会時にRIの状況・最新のRI出版物の整理・情報の提供を行う 以上であるが、特に新会員がクラブに溶け込めるよう援助してあげることが最も大切なことである。これらのことから当委員会が活発に運営されれば会員退会防止や新入会員の増強に繋がる。時代の変遷と共に要求されることが変遷することは当然である。それは変節ではなく変容と考えられ、なんの問題もないと考える。そこで、過去のガバナーマンスリーレター「如是我聞」より抜粋を説明する。

四津谷 仁朔 P・G・・・自身が退会しようとした際にポール・ハリス署「This Rotariann Age」を読んで勇気を与えられたと米山梅吉署「ロータリーの理想」に記されている。皆さんも購読を。津田達雄 P・G・・・ロータリーの奉仕の実践はまず例会に出席すること。会場では全てが平等で楽しみながら修練を積む道場であり、人様の為になりたいとの素朴な気持ちで望むことが大事である。

松尾久義 P・G・・・ロータリーは個々の職業人の集まりの為「職業の公共性・公益性を崇める事が社会に対する奉仕の発想であり、企業は適正な利益を確保せよ」それが他の奉仕団体との違いである。日本の現状は職業奉仕重視が大半を占めているが、しかし 世界の状況は飢餓・貧困・宗教問題から個の職業奉仕から集团的な社会奉仕への発想転換が必要であるとなっている。その根幹は発足時の基本精神と変わっていない。それは現時点では何が一番望まれているのかの判断である。

梶田敬次郎 P・G・・・新入会員は、既に奉仕の志を持っているからこそ入会推薦されたのであり、特に新しい事をやることはなく職業の質を更に向上させることが第一である。その為にも出席第一。

仲谷純三 P・G・・・ぜひ新入会員は人種・宗教・国境を越えた交流の場である国際大会への出席を、また奉仕の機会として友人を増やす最高の組織である。そのために生涯ロータリアンで居たい。

前山正一 P・G・・・国際奉仕に関して、米山奨学金委員会は日本と世界の懸け橋で世界平和の創造と貢献を目的として国内最大の民間奨学金事業があり、現在106国に広がっている。是非協力を。

近藤俊行 P・G・・・各種大会へ出席し質問することによってロータリーから得るものがある。

北川晶夫 P・G・・・国際間の青少年交換が当初は英語圏だけであったが現在はそれ以外にも始まっており、今後も受入れ・派遣に是非協力を。

菊池龍雄 P・G・・・ロータリーの基本は親睦と奉仕である。それには例会出席が原則であり、メイクアップはあくまでも救済制度である。但し見聞を広めると言った側面もある。

会員の子弟の派遣交換学生募集の件について (配布資料あり)